

電子情報システム工学専攻			電子情報システム工学特別ゼミナール				
学年	専攻科1年	担当教員名	野口 孝文				
単位数・期間		1単位	後期	週当りの開講回数	1回	専門展開・必修	学修単位3
授業の目標と概要		特別研究に関連した文献調査、プレゼンテーション技術を修得し、企業の指導者からの講義及び企業の指導者との討論を通じて、地域の産業や社会の抱える課題やそれに対処するために必要な能力(計画性など)を修得することを目的とする。文献調査に関しては、各自、与えられたテーマに従って調査し、その内容を発表することにより、特別研究のための調査技術、プレゼンテーション技術の修得を目指す。					
		釧路高専目標	B:20%,D:60%,G:20%		JABEE目標	a,b,d-2-d,e,g,h	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		電子ジャーナルによる論文調査、ネットを利用した情報収集、図書館の利用、などさまざまな手法によって、必要な情報を収集・分析し、さらにそれらをまとめて発表する。また、発表後の質疑応答に対応する。さらに、周辺・境界領域の知識や地域の産業や社会の抱える課題とそれに対処する能力を修得する。 これらの作業は特別研究における自分の研究作業のための訓練として重要である。					
到達目標		適切な方法により効率的な論文検索ができる。 適切な方法により効率的な情報収集ができる。 調査結果を適切に発表できる。 地域の産業や社会の抱える課題それに対処するために必要な能力の理解ができる。					
成績評価方法		文献調査プレゼンテーション(複数教員)(60%) 文献ディスカッション参加(20%) 企業講義レポート評価(20%)					
テキスト・参考書		各指導教員の指示による					
メッセージ		情報収集や地域または社会課題の理解は特別研究において重要なことである。					
授 業 内 容							
授業項目			授業項目ごとの達成目標				
前期中間試験							
前期期末試験							
1)ガイダンスの実施 2)特別研究に関連した文献調査テーマの決定 3)特別研究に関連した文献調査			与えられる文献調査テーマに従って、文献調査できる。				
後期中間試験			実施しない				
1)特別研究に関連した文献調査結果の発表と討論 2)企業指導者による地域または社会の抱える問題とその対処に必要な能力に関する講義			1)文献調査結果を説明でき、質問に対して適切に回答できる。 2)文献調査発表のディスカッションに参加できる。 3)地域または社会の抱える問題とそれに対処するための必要な能力を理解し、それをレポートにまとめることができる。				
後期期末試験			実施しない				